

森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業に関する アンケート調査結果報告書

～ 「関係人口の創出・維持の活動」の今後の取組予定について ～

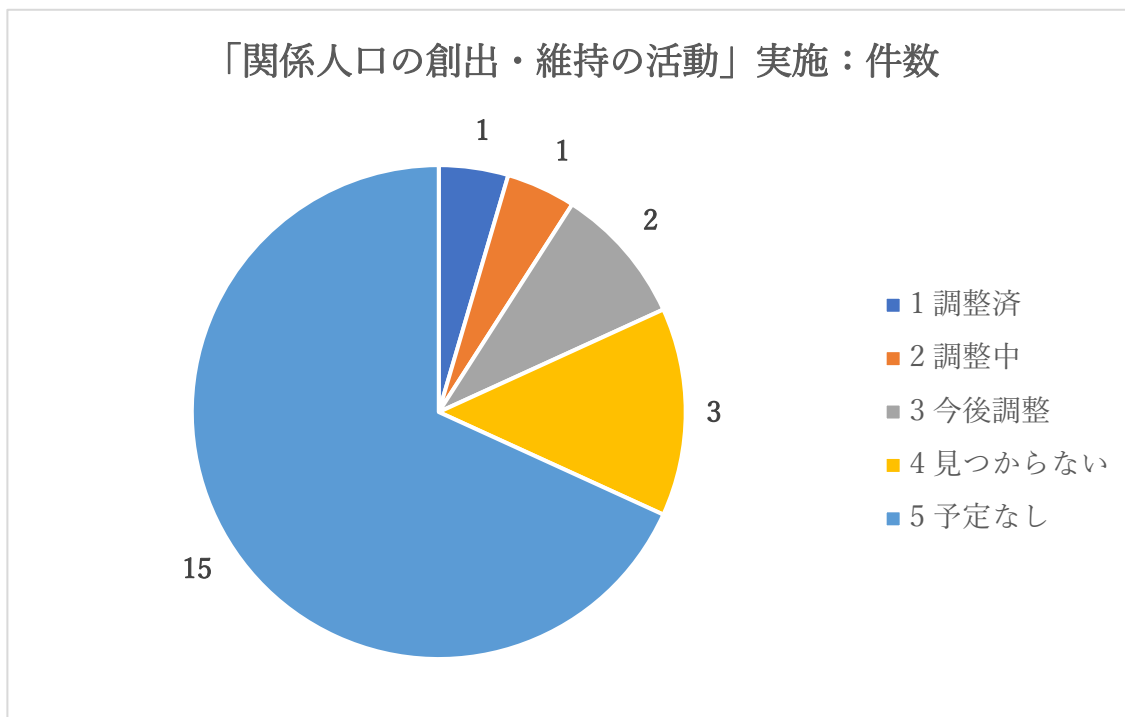
Ⅰ アンケート調査概要

- ・ 目的:本調査は、活動組織に対する今後の「関係人口創出・維持活動」の実施の意向を調査し、当該事業を進めるうえでの基礎資料とする。
- ・ 期間:令和4年10月11日(火)～10月25日(火)
- ・ 対象:令和4年度 森林・山村多面的機能発揮対策交付金 活動組織
(活動期間:令和2年度～4年度)
- ・ 依頼数:74 活動組織
- ・ 回答数:22 活動組織(29.7%)

Ⅱ アンケート調査項目と回答結果

(1) 令和5年度(来年度)に「関係人口の創出・維持の活動」を実施する予定はありますか
(選択式)

- 1 地域外関係者と調整が済み、令和5年に実施する予定がある(調整済)
- 2 地域外関係者と調整中であるが、令和5年に実施する予定がある(調整中)
- 3 地域外関係者と今後調整を始め、令和5年に実施する予定がある(今後調整)
- 4 地域外関係者が見つからないが、令和5年度に向けて実施を検討している(見つからない)
- 5 令和5年に実施する予定は無い(予定なし)



(2) 上記回答が 5 の場合、実施しない(できない)理由

(選択式)

- 1 域外関係者が見つけれないため(見つければ実施したい)
- 2 地域外関係者が見つけれないため(見つかったも実施は出来ない)
- 3 地域外関係者との調整が大変なため(実施要件や事務手続きが煩雑)
- 4 地域外関係者の個人情報の取扱、保管等に不安を感じるため
- 5 地域外関係者と実施するメリットがないため
- 6 地域外関係者の安全を確保しながら作業をするのが困難なため
- 7 地域外関係者の居住地区が、活動エリアから遠すぎて活動しにくい
- 8 実施に当たり、地域外関係者の協力が得られるか不安なため
- 9 手間が多すぎて、活動組織本来の森づくり活動に支障を来すため
- 10 手間の割に、補助額が少なすぎるため
- 11 活動組織内の人員が不足しており、対応できないため
- 12 活動組織内のメンバーが確保出来ており、地域外関係者がいなくても森づくりは可能であるため
- 13 令和4年度で全活動を終了し、森林・山村多面的機能発揮対策事業を実施しないため
- 14 その他

※1 交付金対象外の森で 10 年前から植樹・育樹活動をしております。年に一度のイベントとして、コープ会員の参加が多くあります。

※2 事前に「地域外関係者」を特定するのは無理です。

実施しない (できない) 理由：件数

